

千葉市科学館がリニューアルしました！
～子どもから大人まで科学・技術を身近に感じられる科学館へ～

平成19年10月開館以来、地域に密着した科学普及活動を展開するキーステーションとしての役割を担っている千葉市科学館は、「最新の科学を より魅力的に さらにわかりやすく」をコンセプトに、常設展示の一部をリニューアルしています。

このたび、9月末にリニューアルが完了し、新展示が全てそろいますので、お知らせします。

1 展示コンセプト

「最新の科学を より魅力的に さらにわかりやすく」

2 基本方針

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）をはじめとする研究機関、大学、企業の協力を得て、地底、深海、宇宙をテーマとした子どもから大人まで好奇心を刺激する魅力的な新規展示品の導入、そして、科学をさらにわかりやすく、体系的な学びと展示のストーリー性を演出する仕掛けをリニューアルの基本方針としています。

3 工事期間

令和4年5月11日～令和4年9月30日

※開館しながらの施工を行っています。

4 主なリニューアル展示

(1) 10階 ジオタウン

ア まるでニュースのお天気コーナー「お天気スタジオ」

誰でも気象予報士になりきって、お天気キャスター体験ができます。



イ 地球深部探査船「ちきゅう」コーナー

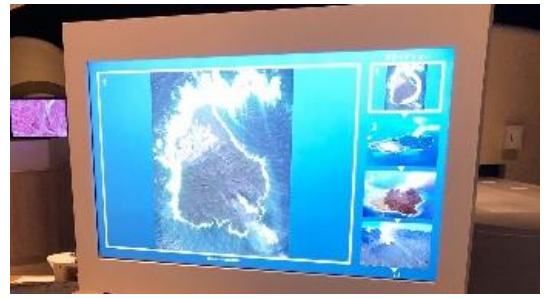
世界最高レベルの掘削能力を持つ地球深部探査船「ちきゅう」の掘削のしくみや、なぜ掘るのかを知ることができます。

また、地球の内部構造や、マントルが活発に活動している様子などを動画で解説しています。



ウ 火山島「西之島」コーナー

東京の南方930kmにある火山島「西之島」の紹介展示です。写真や赤色立体地図などを使って、噴火により刻々と姿を変える西之島の様子が見られます。



エ 小惑星探査機「はやぶさ2」コーナー

小惑星探査機「はやぶさ2」の10分の1模型を展示します。はやぶさ2のミッションの様子や搭載された観測機器、小惑星リュウグウのサンプル採取について紹介します。



オ 月面探査車 有人与圧ローバー「ルナクルーザー」コーナー

月面有人探査を目指して開発中の「ルナクルーザー」の10分の1模型です。月でのミッションの構想や、持続的な宇宙活動を支える燃料電池の仕組みなどを紹介します。



カ アイスキューブ・ニュートリノコーナー

南極のニュートリノ観測装置「アイスキューブ」をモデルにしています。目に見えず、なんでも通り抜けてしまうニュートリノを観測装置がどのように捉えているのか、体感することができます。



(2) 9階 テクノタウン

ア 有人潜水調査船「しんかい6500」コーナー
深さ6,500mまで潜れる潜水調査船の実物大模型を展示します。コックピットへの乗船体験、ロボットアームの操作体験ができます。



イ 日本のフリーフォール型深海探査機「江戸っ子1号」コーナー
数千メートルの深海を調査する無人探査機「江戸っ子1号」の実物展示です。江戸っ子1号の開発の過程やそこで生まれた様々な技術、実際に江戸っ子1号が深海で撮影した映像が見られます。



(3) 8階 ワンダータウン

・錯視コーナー

鏡に映すと形が激変し、まるで別の立体に置き換わったかのように見える「変身立体」や、様々な錯視とその原理を解説する動画が見られます。



(4) その他

・かくれた科学を探しに行こう「みるみるAR」
ARを活用して違った視点で展示を体験でき、もっと深い学びをサポートします。

SDGsとの関連も紹介しています。専用のタブレットを使って館内の展示を巡ります。



5 問い合わせ先

千葉県科学館 広報担当：栄井・武藤
電話：043-308-0511